



宇工高同窓会々報

発行所
宇都宮市雀宮町52番地
電話 (028)678-6500
宇都宮工業高校
同窓会事務局

会員の皆様へ

同窓会長

岡田 義治



同窓会々員の皆様には、ご健勝に新しい年をお迎えのことと思います。

昨年（平成二十三年）九月に、宇都宮工高はJR雀宮駅東側に移転いたしました。同時に、同窓会の事業として進めて参りました、初代校長・安 美賀先生の胸像を完成させました。安先生は「一人は一校を代表す」という教訓を遺され、本校卒業生の共通認識として定着しています。また胸像は「宇工生の心の原風

景を象徴（シンボル）するものとしての意義」があまりありません。

同年九月二十一日に行われた胸像の除幕式には、安先生の孫・瀬田寛子さん、同窓会顧問の福田富一知事、学校関係者をはじめ多くの会員が参加して頂き、思いを新たにしました。同日夜の祝賀会は、台風十五号の通過という悪天候にも拘わらず、宇都宮市長はじめ「宇工の開校を心からお祝いする」方々が多数集いました。

学校名「宇都宮工業高等学校」、そして新しい校歌もできましたが、従来の校歌である「亀城の西に・・・」も引き続き歌い継がれることになりました。会員の皆様の熱意の成果だと思えます。今日に至るまで同窓会の事業にご理解を頂き、募金等を通してご協力を頂きました会員の皆様に、改めて深く感謝とお礼を申し上げます。

今後の課題は、八十八年間にわたり宇工の校舎が存在した京町（旧西原）に「宇工・発祥の地」の記念碑（できればポケットパーク）を遺し、同窓生や市民の方々が歴史を繋いで行ける事業を進めて行きたいと思えます。宇工の跡地は「県高等特別支援学校」と「市立一条中学

校」が共用する方向で整備計画が進んでおります。

新校舎の二階にある定時制課程の一部を借用し、「同窓会コーナー」を設けました。近くにお越しの折には、新宇工高の見学を兼ねて是非お立ち寄り頂きたいと思えます。

会員の皆様には、今後とも建設的なご提言をはじめ、ご理解とご支援を頂きますようお願いを申し上げます。新年の挨拶ならびに報告とします。

あいさつ

学校長

藤田 充孝



同窓会の皆さまには、本校教育の復興のために格別なご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

新校宇都宮工業高等学校は、今年度四月に開校し、かねてから整備していた雀宮駅の東の新校舎に九月から移転し、授業を開始したところで、本校の整備は、県立高校

再編計画の中でも科学技術高校の整備として特に大きな事業であり、基本構想や設置場所の検討においては増淵前同窓会長をはじめ多くの方からご意見をいただきながら、基本構想から八年の歳月を重ねてやっと実現しました。

新校宇工高は、今年度の一年生から四系ごとのくりり募集に変わりました。一年次では、各系ごとに共通となる工業の基礎科目や実習を学習し、二年次から七学科一専門コースに分かれることとなります。七学科は機械科、電子機械科、電気科、電子情報

科、建築デザイン科、環境設備科、環境土木科で、これまでになかった新しい内容の特徴的なコースとして、機械エネルギーコース、情報ネットワークコース、住環境デザインコース、土木施工コースがあげられます。一年次の一月には各生徒の所属学科とコースが決まります。

一九二三年に創立した本校は平成二十五年度に創立九十周年を迎えます。同窓会の皆さまには、母校の教育発展のために引き続きご支援をいただきますようお願いいたします。



新校舎全景

従来は機械科2クラスと電子機械科1クラスを、現在の1年生から機械システム系として3クラス一括募集し、2年次より機械技術コース（機械科）、機械エネルギーコース（機械科）そして電子機械コース（電子機械科）になります。コース選択により、2年次からは、再びクラス分けがあり、担任の先生の変わる生徒が出てきます。ついでこの間、クラス分けが、決まったばかりです。

当然、新宇都宮工業高等学校は、今までの宇工以上に、基礎基本を大切にしながらも専門性の高い学校になってい



胸像除幕式（下野新聞社より）

機械システム系紹介

機械システム系
芦澤 正雄

ます。今まで、なかったような新しい機械が、たくさん入ってきています。

まず機械技術コースでは、6尺旋盤による機械加工、作品製作や1人に1台のフライス盤での指導など今まで以上に専門的になります。また、3軸のマシニングセンターが2台、そして5軸のマシニングセンターと、これだけの設備はなかなかありません。溶接もガス、アーク以外にMIG、TIG、MAGなどアルミやステンレスも溶接できます。そして、加工以外に設計、材料、計測制御、電気・電子の学習と幅広く機械の設計や加工の学習をします。



次に機械エネルギーコースでは、機械加工、溶接はもちろん、それ以外にエンジン

（熱力学）、水や空気（流体）など、熱や流体の力学について学習します。これほど、エネルギー関係の機械装置の入った学校というのも、日本全体でも珍しいと思います。

また、電子機械コースでは、機械制御を中心に電気・電子の学習、電子回路などいろいろな制御を中心に学びます。やはり、新しい機械で日本に初めて導入されたFA実習装置などが、あります。また、このほかに機械加工、溶接、設計、材料の勉強をします。

電気情報システム系紹介

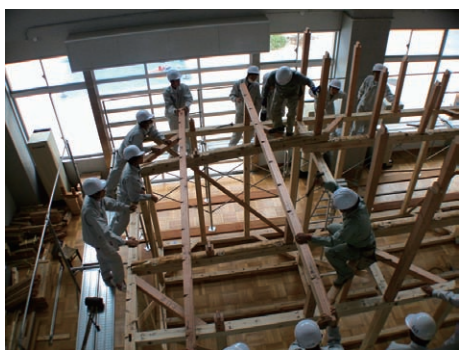
電気情報システム系
三 神 富士男

電気情報システム系では電気・電子・情報技術について幅広く学び、電子技術や情報ネットワーク等に関する知識・技能の習得を図ります。2年次からは電気技術者を目指す電気科（電気エネルギーコース）と、電子技術者や情報通信技術者を目指す電子情報科（電子コース、情報ネットワークコース）に分かれ、それぞれの専門性を深めた学習をします。新たに導入された特徴的な実習装置や実習室には、高圧実習装置や模擬送電実習



装置、電波暗室、光ファイバ実習室、マルチメディア実習室などがあります。また、取得を目指す資格・検定には、電気工事士（第1種、第2種）や工事担任者（総合種、DD1種）、第3種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技術検定（学科）、2級情報配線施工技能検定などがあります。

昨年10月に実施された学校公開では、電気情報システム系1年生が今年度取り組んだ第2種電気工事士技能試験の公表問題の作品展示と実演を行い、電気・電子科の2、3年生は、新しい実習装置を使った実習を公開しました。地元の方や中学生から好評を得ることができました。今後、これらの最新の实習装置を活用した実習や授業を展開



し、生徒には工業技術者として必要となる知識や技術を豊富に身につけて卒業してもらいたいと思っています。

建築デザイン系紹介
建築デザイン系
増淵弘喜

建築デザイン系は、建築や住環境デザインについて幅広く学び、設計・施工や建築デザイン等に関する知識・技術の習得を目指して学習をします。二年次からは、建築技術コースと住環境デザインコースの二コース分けられます。

建築技術コースでは、建築物を建てるための計画・設計・施工に関する知識と技術を学びます。特に建築施工に関する内容を深く学び、将来は建築施工管理技士として、建

築現場で実践的に活躍できる人材の育成を目標としています。実際に目指す職業は、建築物を建てる仕事、建築現場の工程管理をする仕事、建築現場の安全管理や品質管理をする仕事、建築物をリフォームする仕事などがあげられると思います。

住環境デザインコースでは、建築物の設計と施工管理に必要な知識と技術を学び特に建築計画に関した内容を深く学び、将来は建築士として、魅力的な建築空間を生み出すことのできる人材の育成を目標としています。実際に目指す職業は、建築物を設計する仕事、建築物の構造を考える仕事、建築物が計画通り施工されているか管理する仕事、設計図やパースを描く仕事などがあげられると思います。

実際には一年生が在学しているだけで、コース分けはされていませんが希望調査によると、ちょうど半々ぐらいに分かれそうです。新しい校舎で新しい教育課程によって成長する生徒たちに期待します。

環境建設システム系の紹介

環境建設システム系

村上英二

環境建設システム系では、環境保全や建設技術について幅広く学び、環境に配慮した建築設備や土木構造物の設計・施工等に関する知識・技能の習得を図り、建物や社会基盤システム構築に携わる建築設備技術者、土木技術者を育成します。2年次からは環境設備科（環境設備コース）、環境土木科（土木施工コース）、土木設計コース）に分かれ、それぞれの専門性を深めた学習をします。

新たに導入された特徴的な施設設備は、消火設備システム、ハイブリット（太陽光、風力）発電システム、GPS測量システム、3次元レーザースキャナなどがあります。取得を目指す資格・検定は、2・3技能士（建築配管）、2級管工事施工管理技術検定、2級土木施工管理技術検定、測量士補などがあります。今年度入学した1年生は、「実習」や「工業技術基礎」の授業で板金加工、ガス溶接、管工作、測量、環境計測、水理実験など幅広い内容を学習しました。生徒たちは、先端の機能



を備えた機器が動く様子を見てより強い興味・関心を示し、専門教科の学習に意欲的に学習に励んでいます。また職場見学では、病院の施設管理設備や道路工事現場を見学しました。この見学を通して専門教科に対する理解がさらに深まり、職業観を培うことができました。1年間の学習を通して、生徒たちはそれぞれのコースで学習する基礎的な内容を理解し、自らの進路希望に応じたコースを選択することができました。先端の環境建設システムに関する内容を学習した生徒が将来、地域の建設産業を担う技術者になるよう、今後も最新の施設設備を活用した効果的な授業を展開していきます。

新校舎 落成祝賀会

平成23年9月21日
ホテルニューイタヤ



同窓会長 岡田義治



顧問 福田富一様



安先生の孫 瀬田寛子様



宇工校長 藤田充孝様



宇都宮市長 佐藤栄一様



中村土建(株)社長 渡辺勇雄様



P T A 役員の方々にもご臨席いただきました



WRO2011 in UAE

ロボット世界大会に参加して

生産システム研究部保護者 松井正一

2011年9月18日夕方、一通のメールで我が家は湧きました。「WRO Japan 2011大会」で息子(電子機械科3年松井幹太)のチームが日本代表として世界大会に出場決定したのです。こんな機会は滅多にない

め、「一生に一度の親バカをやろう」とUAE日本代表応援ツアーに参加することにしました。

UAEは、今年建国40年目にあたり、たくさんの記念フラッグが街並みを飾っていました。アラビア海にそびえ建

つ近代的なビル

の数々。巨大

で勇壮な総

大理石のモス

ク。シヨッピ

ングモールに

は人が溢れ、

広大な砂漠国

といった先入

観を覆す隆盛

極める国でし

た。

11月19日、W

RO2011

in UAE。

世界から約2

00チームが

参加し、日本

からは宇工の

2チーム6人

を含め、19チ

ームが参加し

た。会場に入るやいなや多くの選手や応援団が国旗を振る姿、テンポの良いBGMとナレーション。自然と気分が盛り上がりました。競技が始まり、レギュラーカテゴリ(チーム「礎」)では、サプライズルールに大苦戦を強いられました。オープンカテゴリ(警備ロボット「テクト君」)では3人の審査員の前で英語によるプレゼンテーションが行われました。息子も含め、3人のチームワークで英語の質疑応答も何とかこなしました。

結果は、オープンカテゴリ高校生部門で宇工チームが6位入賞。とても感動しました。世界大会を通して、自律型ロボットのプログラム制御に生徒の独創的な考えが反映されている凄さや、参加した生徒同士の国際交流が図られている点を垣間見ることができ、大変、画期的な大会だったと感じました。大会に参加した息子を含む選手の皆さんも大いに成長できたと思えます。世界大会に導いてくださいました、顧問の先生方本当にありがとうございました。この経験が息子たちの今後の人生の大きな糧になったと確信しています。

2年連続電気工事コンテスト
関東大会出場

電子科2年

五月女俊介

7月に作新学院高等学校で開催された高校生ものづくりコンテスト電気工事部門栃木県大会で優勝し、1年生の時に参加した埼玉大会に引き続き、2度目の関東大会出場を果たすことができました。今年度の関東大会は、8月28日に東京電業会館で開催されました。

この競技は、電気系学科の生徒を対象に、電気工事の基礎応用の技術向上と電気技術者の育成を図ることを目的としています。その目的の通り技術を磨いてきた関東甲信越地区の代表生徒16名が、縦1800mm×横1800mmの作業板に、120分の制限時間内で電気工事を施し、その完成度を競い合いました。結果は8位でした。昨年度と同様、県大会とは違った会場の雰囲気や飲み込まれてしまい、配置寸法の計算ミスや金属管の曲げ長さの誤りなどから時間をロスしてしまい、焦りもあり、練習のようにはうまく施工が出来ませんでした。



た。雰囲気をもともしない強い精神力と練習で培ったことを冷静に競技で実現できる者が上位入賞を果たしています。これまでの出場経験を生かして次年度こそ上位入賞を果たしたいです。その為にはもっと練習を積んで技術を磨くとともに、精神力も鍛えて臨みたいと思っています。最後にありますが、真夏の暑い中、熱心にご指導くださいました小林美樹雄先生をはじめ(株)関電工、(社)栃木県設備業協会電気工事部会の方々から感謝申し上げます。

定時制サッカー部 〜全国大会2年連続 ベスト8〜

サッカー部顧問

猪瀬和明

本年度の定時制サッカー部は、「全国大会決勝戦進出」を目標にメンバー18名で夜遅くまで練習をしてきました。

6月に行われた栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会では、日々輝学園高校に10対0で大勝し、決勝戦では学悠館高校に6対0で快勝、県大会4年連続5度目の優勝を果たし、全国大会へ駒を進めることが出来ました。

8月に静岡市で行われた全国高等学校定時制通信制サッカー大会では、ブラジル国籍の生徒が13名も居る岐阜県立加茂高校と対戦し、先制点を早々に挙げ快勝、2回戦では、田代君のハットトリックにより、大阪代表の西野田工科高校に快勝しました。準々決勝では、昨年の優勝校である東京都代表、町田高校と対戦し、前半に先制点を許し0対1で敗れてしまいました。

一昨年の3位にはあと一歩届きませんでしたが、堂々のベスト8に輝きました。これらの成績により、今年



度は5名の選手が栃木県高等学校体育連盟の優秀選手に選ばれました。応援してください。同窓会の皆様をはじめ、生徒・先生・保護者の皆様、ありがとうございました。

◎同窓会奨励賞3年連続受賞
◎栃木県高等学校体育連盟優秀選手

- 工業技術科
 - 4年A組 井上嵐史
 - 3年B組 園部修平
 - 2年B組 小林和人
 - 計 5名
- 農業科
 - 4年A組 亀田和季
 - 3年B組 篠野翔太

平成二十三年度の進路

1 世界的な不況に備えた就職

平成20年秋に始まった世界的な不況と急速な円高の為、求人数が減少することが予想され、その対策を準備してきました。本年度の求人企業数は昨年の497社から419社に減少しました。生徒たちが出願する夏休み中に頂いた求人数は362社に止まりました。

4月から、3学年及び各工業科と連携し、放課後に

2 科学技術高校としての進学体制の整備

本年度の進学については大学に48名、短大・大学校19名、専門学校31名、就職68名です。先生方に感謝いたします。

求人社数の推移

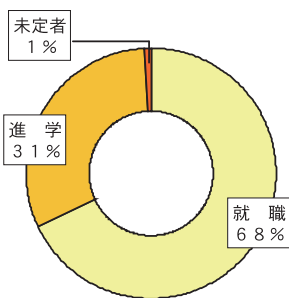
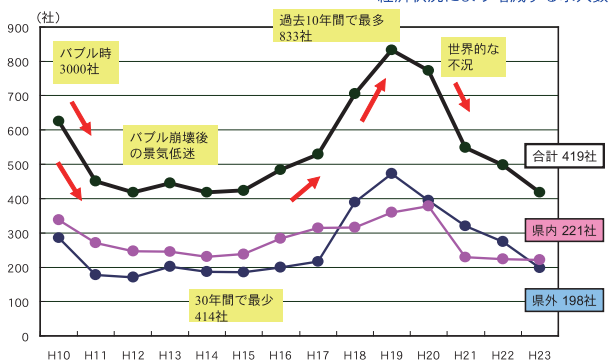


図1 就職者数と進学者数の割合

早い段階で進路を決定し、大学・短大・専門学校のように進路別・コース別の導入やカリキュラムの整備など、進学指導体制の確立を行い、そのコースやカリキュラムに添った補習を行っています。就職と進学双方の選択肢をより充実することで本校生徒の進路希望を実現したいと思えます。

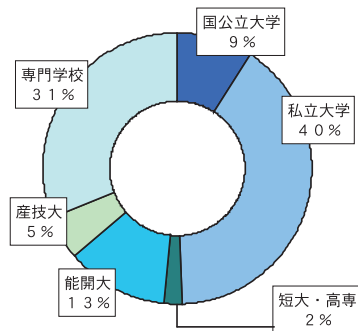


図2 進学内訳

進路指導部長 蓮田裕一

平成22年度収支決算報告

平成23年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金	7,370,539円		
支出金	5,482,930円		
残 金	1,887,609円	自 平成22年 4月 1日	至 平成23年 3月 31日

■ 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
繰 越 金	3,469,634	3,469,634	0	
永久会員費	3,460,000	3,400,000	△60,000	全10,000×316人=3,160,000 定10,000× 24人= 240,000
雑 収 入	0	500,905	500,905	利子+基金より借入
計	6,929,634	7,370,539	440,905	

■ 支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
会 議 費	800,000	859,992	59,992	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	300,000	271,352	△28,648	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	300,000	127,500	△172,500	母校歓迎迎会等、寸志等
事 業 費	1,300,000	3,210,951	1,910,951	卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞、餞別金
教育活動後援費	500,000	500,000	0	H22年度教育活動後援費
慶 弔 費	350,000	0	△350,000	
ISO維持管理費	400,000	350,000	△50,000	ISO更新審査
同窓会HP管理費	200,000	163,135	△36,865	HP更新料、サーバー費
母校映像記録費	2,000,000	0	△2,000,000	基金より支 (H21H22)
予 備 費	779,634	0	△779,634	
計	6,929,634	5,482,930	△1,446,704	

(2) その他

① 基金

(単位:円)

基 金 (90周年準備金含む)	96,707,466 (4,000,000)		
	栃木銀行 20,167,253	足利銀行 56,540,213	日光杉並木基金 20,000,000

(1) 一般会計

収入金	5,477,609円		
支出金	5,477,609円		
残 金	0円	自 平成23年 4月 1日	至 平成24年 3月 31日

■ 収入の部

(単位:円)

科 目	22年度予算額	23年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	3,469,634	1,887,609	△1,582,025	
永久会員費	3,460,000	3,590,000	130,000	金10,000×314人=3,140,000 金10,000× 45人= 450,000
雑 収 入	0	0	0	一般会計利子
計	6,929,634	5,477,609	△1,452,025	

■ 支出の部

科 目	22年度予算額	23年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	800,000	800,000	0	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	300,000	300,000	0	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	300,000	300,000	0	母校歓迎迎会等 寸志等
事 業 費	1,300,000	1,300,000	0	卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞、餞別金
教育活動後援費	500,000	300,000	△200,000	H23年度教育活動後援費
慶 祝 費	350,000	350,000	0	
ISO維持管理費	400,000	400,000	0	
同窓会HP管理費	200,000	200,000	0	
母校映像記録費	2,000,000	0	△2,000,000	寄付より支出
予 備 費	779,634	1,527,609	747,975	
計	6,929,634	5,477,609	△1,452,025	

(2) その他

① 基金

(単位:円)

基 金 (90周年準備金)	104,888,808 (4,000,000)		
	栃木銀行 20,167,263	足利銀行 64,719,555	日光杉並木基金 20,000,000

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成23年5月23日

会計監査

同窓会定期総会報告

平成二十三年年度総会は、平成二十三年六月十八日(土)、ホテル九治宇都宮に於いて常任理事会に引き続き開催されました。平成二十三年年度決算報告及び平成二十三年年度予算案が掲載して有りますのでご覧下さい。

また、九十周年記念事業の準備と募金の報告、安初代校長記念碑の建立と記録保存、旧学校敷地への記念碑建立について、募金二口以上の方々への記念DVDの送付を平成二十四年三月から開始することになりました。

一、同窓会事務局員の動向
二十三年の三月で定年を迎えられた、建築科の齋藤延夫先生と定時制の小嶋計一先生が退職されました。

治男 一夫 男造 久薫 之明 好蔵 一夫 男誠 雄宏 孝男 男隆 長雄
義繁 英忠 秀恭 林弘智 俊秀 一健 富和 成 光 充政 辰 良勇
田田 津口 藤井 津井 梶 田林 橋成 田部 瀬藤 塚島 田尻 田沼 平辺
岡嶋 阿久 湯齊 今梅 藤宇 亀和 大小 板吉 福阿 猪伊 飯中 藤野 亀和 柿小渡

主幹教諭の葭葉功先生が今工高に、建築科の鈴木修一先生が北桜高へ、イ設科の今井修造先生が那須清峰高に異動されました。

四月には建築科に岩谷英直先生、イ設科に平野邦比彦先生、機械科に清水裕章先生、定時制電気コースに上野徹也先生が赴任されまして、宇工出身の教職員は二十五名になりました。

一、同窓会長賞・奨励賞
同窓会長賞として機械科三年稲葉泰嗣君、電子機械科藤野慎也君の二名に、同窓会長奨励賞としてバスケットボール部、生産システム研究部、科学技術研究部、定時制サッカー部に授与致しました。

平成23年度役員

会長	治男
副会長	一夫
顧問	男造
監査	久薫
顧問	之明
顧問	好蔵
顧問	一夫
顧問	男誠
顧問	雄宏
顧問	孝男
顧問	男隆
顧問	長雄
顧問	義繁
顧問	英忠
顧問	秀恭
顧問	林弘智
顧問	俊秀
顧問	一健
顧問	富和
顧問	成 光
顧問	充政
顧問	辰 良勇
顧問	田田
顧問	津口
顧問	藤井
顧問	津井
顧問	梶 田
顧問	林 橋
顧問	成 田
顧問	部 瀬
顧問	藤 塚
顧問	島 田
顧問	尻 田
顧問	沼 平
顧問	辺
顧問	岡嶋
顧問	阿久
顧問	湯齊
顧問	今梅
顧問	藤宇
顧問	亀和
顧問	大小
顧問	板吉
顧問	福阿
顧問	猪伊
顧問	飯中
顧問	藤野
顧問	亀和
顧問	柿小渡